

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
下瀬川徹	急性膵炎・重症急性膵炎	小俣政男	肝胆膵診療エキスパートマニュアル	羊土社	東京	2008	353-9
正宗 淳, 下瀬川徹	慢性膵炎—成因と発症機序・進展機序—	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	83-89
糸 潔, 下瀬川徹	【慢性膵炎】 遺伝性膵炎	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	136-143
伊藤鉄英	膵炎	山田勝士・櫛田賢次・大井一弥・丸山 徹・高村徳人・伊藤由紀	病気と薬パーフェクトBOOK 2008	南山堂	東京	2008	417-420
伊藤鉄英	第2章 慢性膵炎 内科治療・予後	下瀬川徹	新しい診断と治療のABC 54・膵炎, 膵癌	最新医学社	東京	2008	91-99
伊藤鉄英	第8章 肝臓 胆管細胞癌	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	181-182
伊藤鉄英	第10章 胆道 胆管結石	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	201-202
伊藤鉄英	第10章 胆道 胆嚢ポリープ	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	207-208
伊藤鉄英	第10章 胆道 胆嚢癌	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	209-210
伊藤鉄英	第10章 胆道 胆管癌	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	211-212
伊藤鉄英	第11章 膵臓 急性膵炎	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	214-216
伊藤鉄英	第11章 慢性膵炎	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	217-218
伊藤鉄英	第11章 自己免疫性膵炎	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	219-220
伊藤鉄英	第11章 膵嚢胞	多田修治, 大坂間ひろみ	まんがで読み解く消化器症例…100	メディカルレビュー社	東京	2008	221-222
乾 和郎, 芳野純治, 奥嶋一武, 三好広尚, 中井喜貴	仮性嚢胞の内視鏡的治療	松野正紀監修, 武田和憲編	急性膵炎の診療update	鳥居薬品	東京	2008	153-156
中村雄太, 乾 和郎	体外式衝撃波結石破碎療法と内視鏡的治療	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	115-117
岡崎和一, 内田一茂	3章 自己免疫性膵炎 C. 診断 2. 血液・生化学検査	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	178-184
片岡慶正	1章 急性膵炎, A. わが国の実態	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	1-10
阪上順一, 片岡慶正	1章 急性膵炎, H. 薬剤性膵炎	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	71-76
阪上順一, 片岡慶正	2章 慢性膵炎, C. 診断	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	90-104

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
大槻 眞, 伊藤鉄英, 明石隆吉, 伊藤敏文, 乾 和郎, 岡崎和一, 片岡慶正, 神澤輝実, 川 茂幸, 北川元二, 木原康之, 小泉 勝, 下瀬川徹, 武田和憲, 竹山宜典, 成瀬 達, 西森 功, 広田昌彦, 古屋智規, 丸山勝也, 峯 徹哉, 森合哲也		厚生労働省難治性疾患克服研究事業難治性膵疾患に関する調査研究班編	急性膵炎における初期診療のコンセンサス [改訂第2版]	アークメディア	東京	2008	1-42
片岡慶正	膵疾患へのアプローチ：膵疾患を理解するための基礎的事項	井村裕夫	わかりやすい内科学 第3版	文光堂	東京	2008	682-685
片岡慶正	膵炎（急性，慢性）	井村裕夫	わかりやすい内科学 第3版	文光堂	東京	2008	687-691
大槻 眞, 木原康之	急性膵炎における初期輸液	武田和憲（編集）	急性膵炎の診療 update	鳥居薬品株式会社	東京	2008	14-17
木原康之, 大槻 眞	わが国の急性膵炎の実態調査と医療給付制度	武田和憲（編集）	急性膵炎の診療 update	鳥居薬品株式会社	東京	2008	194-197
木原康之, 大槻 眞	特定疾患	下瀬川徹（編集）	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	67-70
武田和憲	急性膵炎：診断基準・鑑別診断・重症度判定基準		膵疾患へのアプローチ	中外医学社		2008	24-28
竹山宜典	急性膵炎の栄養療法—最近の動向	林紀夫, 日比紀文, 上西紀夫, 下瀬川徹	Annual Review 消化器	中外医学社	東京	2009	245-250
竹山宜典	重症急性膵炎におけるSDDの理論と実際	武田和憲	急性膵炎の診療 update	鳥居薬品株式会社	東京	2008	147-152
竹山宜典	感染性膵壊死の診断—fine needle aspiration	武田和憲	急性膵炎の診療 update	鳥居薬品株式会社	東京	2008	157-160
成瀬 達	膵嚢胞線維症とは	大槻 眞, 成瀬 達	膵嚢胞線維症の診療の手引き	アークメディア	東京	2008	6-7
成瀬 達	膵嚢胞線維症の診断基準	大槻 眞, 成瀬 達	膵嚢胞線維症診療の手引き		東京	2008	18-19
成瀬 達	膵外分泌不全	大槻 眞, 成瀬 達	膵嚢胞線維症診療の手引き		東京	2008	24-25
大槻 眞, 西森 功	第3章 自己免疫性膵炎, 概念・定義と疫学	下瀬川徹	新しい診断と治療のABC 54/消化器 8	最新医学社	大阪	2008	122-128
西森 功, 大西三朗, 大槻 眞	第3章 自己免疫性膵炎, 管理・治療・予後	下瀬川徹	新しい診断と治療のABC 54/消化器 8	最新医学社	大阪	2008	151-158
大槻 眞, 西森 功	2章 慢性膵炎, A. わが国の実態	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	77-82
西森 功, 大槻 眞	3章 自己免疫性膵炎, D. 治療と予後	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	185-192
広田昌彦, 岡島英明, 馬場秀夫	メコニウムイレウス	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業難治性膵疾患に関する調査研究班	膵嚢胞線維症の診療の手引き	アークメディア	東京	2008	38
廣田昌彦, 大村谷昌樹, 馬場秀夫	急性膵炎：成因・発症機序・重症化機序	下瀬川徹	膵疾患へのアプローチ	中外医学社	東京	2008	11-17
入澤篤志	膵仮性嚢胞	伊佐山浩道	肝胆膵エキスパートマニュアル	羊土社	東京	2008	372-380

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中沢貴宏, 大原弘隆, 安藤朝章	自己免疫性膵炎 診断 臨床症状・膵外病変	下瀬川徹	膵疾患へのアプ ローチ	中外医学社	東京	2008	169-177
神澤輝実	自己免疫性膵炎 成因・ 病理・病態	下瀬川徹	膵疾患へのアプ ローチ	中外医学社	東京	2008	163-168
Kamisawa T, Nakamura T	Digestion absorption of patients with autoim- mune pancreatitis	Callum L. Macleod	New Research on Nutrition for the Middle-Aged and Elderly	Nova Science Publishers, Inc.	New York	2008	1-7
神澤輝実	急性膵炎・重症急性膵炎	山口徹, 北原光夫, 福井 次矢	今日の治療指針 2009	医学書院	東京	2009	422-424
神澤輝実	自己免疫性膵炎 病態生 理	下瀬川徹	新しい診断と治療 の ABC 54 膵 炎・膵癌	最新医学社	東京	2008	136-141
川 茂幸, 浜野英明	自己免疫性膵炎, わが国 の実態, 有病率・性別・ 年齢	下瀬川徹	膵疾患へのアプ ローチ	中外医学社	東京	2008	157-162
桐山勢生	胆石性急性膵炎の診断と 治療	下瀬川徹	膵疾患へのアプ ローチ	中外医学社	東京	2008	49-57
佐田尚宏	慢性膵炎 外科治療・予 後	下瀬川徹	最新医学・別冊 新しい診断と治療 の ABC 54 消化 器 8 膵炎・膵癌	最新医学社	東京	2008	
佐田尚宏	膵嚢胞, 膵癌	山口徹, 北原光夫, 福井 次矢	今日の治療指針 2009	医学書院	東京	2009	
須田耕一	急性膵炎の病理像	松野正紀監修, 武田和憲 編集	急性膵炎の診療 update	鳥居薬品 「医薬の門」	東京	2008	79-82
丹藤雄介, 中村光男	慢性膵炎-D. 治療	下瀬川徹	膵疾患へのアプ ローチ	中外医学社	東京	2008	105-114
古屋智規, 添野武彦, 高橋賢一, 工藤良平	市中病院で行う重症急性 膵炎の集学的治療 ―そ の問題点と魅力―	武田和憲	急性膵炎の診療 update	鳥居薬品株 式会社	東京	2008	207-212
吉田 仁, 北村勝哉, 井廻道夫	前処置・Sedation (鎮静 薬の適切な使い方など)	糸井隆夫	胆膵内視鏡の診 断・治療の基本手 技	羊土社	東京	2008	33-37
吉村邦彦, 安斎千恵子, 衛藤義勝	わが国の嚢胞性線維症患 者における責任 CFTR 遺伝子変異の解析		厚生労働科学研究 費補助金 (難治性 疾患克服研究事 業) 分担研究報告 書			2008	263-265
吉村邦彦, 安斎千恵子, 衛藤義勝	わが国の嚢胞性線維症患 者における責任 CFTR 遺伝子変異の解析		厚生労働科学研究 費補助金 (難治性 疾患克服研究事 業) 分担研究報告 書			2008	300-303
成瀬 達, 石黒 洋, 玉腰暁子, 吉村邦彦, 広田昌彦, 大槻 眞	膵嚢胞線維症の診断マニ ュアルの作成		厚生労働科学研究 費補助金 (難治性 疾患克服研究事 業) 分担研究報告 書			2008	147-150
成瀬 達, 石黒 洋, 玉腰暁子, 吉村邦彦, 広田昌彦, 大槻 眞	第3次膵嚢胞線維症全 国疫学調査		厚生労働科学研究 費補助金 (難治性 疾患克服研究事 業) 分担研究報告 書			2008	205-215

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
吉村邦彦	びまん性汎細気管支炎/ びまん性気管支拡張症	山口 徹, 北原光夫, 福 井次矢	今日の治療方針 2008	医学書院		2008	216-218

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
Masamune A, Kikuta K, Watanabe T, Satoh K, Satoh A, Shimosegawa T.	Pancreatic stellate cells express Toll-like receptors.	J Gastroenterol	43	352-62	2008
Shimosegawa T, Kume K, Masamune A	SPINK1, ADH2, and ALDH2 gene variants and alcoholic chronic pancreatitis in Japan.	J Gastroenterol Hepatol	23	S82-6	2008
Masamune A, Watanabe T, Kikuta K, Satoh K, Shimosegawa T.	NADPH oxidase plays a crucial role in the activation of pancreatic stellate cells.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	294	G99-G108	2008
Otsuki M, Chung JB, Okazaki K, Kim MH, Kamisawa T, Kawa S, Park SW, Shimosegawa T, Lee K, Ito T, Nishimori I, Notohara K, Naruse S, Ko SB, Kihara Y.	Asian diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis: consensus of the Japan-Korea Symposium on Autoimmune Pancreatitis.	J Gastroenterol	43(6)	403-8	2008
片岡慶正, 下瀬川徹	【膵炎診療をめぐる最近の動向 ガイドライン, 診断基準を含めて】慢性膵炎診療ガイドライン現状と問題点	臨床消化器内科	23(10)	1423-1434	2008
下瀬川徹, 桑 潔, 濱田 晋	膵臓疾患の分子機構	臨床消化器内科	24(2)	233-238	2009
下瀬川徹, 桑 潔, 正宗 淳	膵炎は生活習慣病か? 遺伝病か?	成人病と生活習慣病	38(10)	1192-5	2008
下瀬川徹	【急性膵炎をめぐる最近の動向】急性膵炎の Atlanta Classification の改訂をめぐる動向	胆と膵	29(4)	345-350	2008
下瀬川徹	【自己免疫性膵炎の最近の進展】自己免疫性膵炎定義と概念	肝・胆・膵	56(2)	159-166	2008
下瀬川徹	慢性膵炎の診断と治療	日本内科学会雑誌	97(3)	552-557	2008
下瀬川徹	慢性膵炎を疑う場合の対応	日本医事新報	4403	91-93	2008
下瀬川徹	【処方計画法】消化器疾患 慢性膵炎	総合臨床	57(増刊)	1067	2008
下瀬川徹	【処方計画法】消化器疾患 急性膵炎	総合臨床	57(増刊)	1065-1066	2008
正宗 淳, 菊田和宏, 渡邊 崇, 佐藤賢一, 下瀬川徹	膵星細胞は血管新生を誘導する。	膵臓	23巻	587-593	2008
正宗 淳, 下瀬川徹	アルコールと膵炎—酒を飲みすぎると膵炎になるか?	別冊 医学のあゆみ—アルコール医学・医療の最前線		85-90	2008
正宗 淳, 下瀬川徹	慢性膵炎 診断	新しい診断と治療のABC	54	80-90	2008
佐藤晃彦, 下瀬川徹	【急性膵炎の診療 update 治療をめぐる諸問題】アトランタ分類の改訂について	医薬の門	48(2)	125-128	2008
佐藤晃彦, 正宗 淳, 下瀬川徹	【重症急性膵炎の治療と予後】急性膵炎重症度判定における厚労省判定基準改定最終案の有用性の検証	消化器科	46(5)	550-555	2008
桑 潔, 正宗 淳, 下瀬川徹	【慢性膵炎は膵癌の危険因子か】遺伝子異常と膵癌の発症	胆と膵	29(3)	199-205	2008
下瀬川徹	自己免疫性膵炎	日本臨床	66(12)	2393-2406	2008
Igarashi H, Ito T, Kuwano-Kojima M, Takayanagi R, Coy DH, Jensen RT	Involvement of VPAC1 and VPAC2 receptors in increasing local pancreatic blood flow in anesthetized rats	Pancreas	37	236-238	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
Ishibashi T, Zhao H, Kawabe K, T Oono, Egashira K, Suzuki K, Nawata H, Takayanagi R, Ito T	Blocking of monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) activity attenuates the severity of acute pancreatitis in rats	J Gastroenterol	143	79-85	2008
Yasuda M, Ito T, Oono T, Kawabe K, Kaku T, Igarashi H, Nakamura T, Takayanagi R	Fractalkine and TGF-beta1 levels reflect the severity of chronic pancreatitis in humans	World J Gastroenterol	14	6488-6495	2008
Ino Y, Arita Y, Akashi T, Kimura T, Igarashi H, Oono T, Furukawa M, Kawabe K, Ogoshi K, Ouchi J, Miyahara T, Takayanagi R, Ito T	Continuous regional arterial infusion therapy with gabexate mesilate for severe acute pancreatitis	World J Gastroenterol	14	6382-6387	2008
河邊 颯, 伊藤鉄英	自己免疫性膵炎の長期予後と再燃例	肝胆膵	56	283-289	2008
伊藤鉄英	慢性膵炎の診断と治療の実際	Medical Tribune	3	121-122	2008
伊藤鉄英	慢性すい炎	健康のひろば	1637	4	2008
小泉 勝, 須田耕一, 平野賢二, 伊藤鉄英	自己免疫性膵炎の最近の進展	肝胆膵	56	303-318	2008
五十嵐久人, 伊藤鉄英, 木原康之	膵炎の病態・治療とケア 重症急性膵炎の病態・診断・治療	消化器肝胆膵ケア	13	57-64	2008
五十嵐久人, 伊藤鉄英, 河邊 颯, 大野隆真, 松尾 享, 中村太一, 藤森 尚, 高柳涼一	・膵炎の病態・治療とケア・慢性膵炎の病態・診断・治療	消化器肝胆膵ケア	13	65-70	2008
中村太一, 藤森 尚, 五十嵐久人, 河邊 颯, 松尾 享, 大野隆真, 伊藤鉄英, 高柳涼一	膵炎の病態・治療とケア・自己免疫性膵炎の病態・診断・治療	消化器肝胆膵ケア	13	71-74	2008
大槻 眞, 伊藤鉄英	特殊な病態を背景にもつ糖尿病の診断と治療 慢性膵炎に伴う糖尿病	糖尿病	51	199-201	2008
大槻 眞, 武田和憲, 松野正紀, 片岡慶正, 北川元二, 小泉 勝, 竹山宜典, 広田昌彦, 伊藤鉄英, 乾 和郎, 木原康之	急性膵炎をめぐる最近の動向 急性膵炎重症度判定基準と診断基準の改訂	胆と膵	29	301-305	2008
伊藤鉄英, 五十嵐久人, 木原康之, 大槻 眞	膵炎診療をめぐる最近の動向 ガイドライン, 診断基準を含めて 急性膵炎の治療 初期診療指針の改訂案と問題点を中心に	臨床消化器内科	23	1415-1421	2008
峯 徹哉, 明石隆吉, 五十嵐良典, 入澤篤志, 神澤輝実, 川口義明, 須賀俊博, 西森 功, 大槻 眞, 伊藤鉄英, 大原弘隆, 川 茂幸, 木田光広, 田中滋城, 花田敬士, 下瀬川徹	特集: スキルアップ ERCP ERCP の偶発性と対策—ERCP 後膵炎の取り組み—	消化器内視鏡	20	1859-1863	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
伊藤鉄英	膵性糖尿病での初の本格的全国実態調査	ドクターのための専門検索メディア MTpro 医師会員制 (Medical Tribune 2.0) http://mtpro.medical-tribune.co.jp/mtpronews/0808/080811.html	8 12 掲載号	1-3	2008
Kawabe K, Ito T, Igarashi H, Takayanagi R	The current managements of pancreatic diabetes in Japan	Clin J Gastroenterol		in press	2008
川 茂幸, 藤永康成, 入澤篤志, 能登原憲司, 羽鳥 隆, 乾 和郎, 船越顕博, 須田耕一, 高瀬 優, 明石隆吉, 新倉和則, 神澤輝実, 小泉 勝, 広田昌彦, 岡崎和一, 大槻 眞	自己免疫性膵炎と膵癌の鑑別のポイント	膵臓	23	555-569	2008
Matsushita M, Ikeura T, Fukui T, Uchida K, Okazaki K.	Refractory autoimmune pancreatitis: azathioprine or steroid pulse therapy?	Am J Gastroenterol.	103(7)	1834-1835	2008
Okazaki K, Uchida K, Fukui T.	Recent advances in autoimmune pancreatitis: concept, diagnosis, and pathogenesis.	J Gastroenterol.	43(6)	409-418	2008
Matsushita M, Uchida K, Okazaki K.	Diagnosis of peritoneal carcinomatosis: transgastric versus transrectal EUS-guided FNA or percutaneous paracentesis.	Gastrointest Endosc.	67(7)	1211-1212	2008
Miyoshi H, Uchida K, Taniguchi T, Yazumi S, Matsushita M, Takaoka M, Okazaki K.	Circulating naïve and CD4 + CD25high regulatory T cells in patients with autoimmune pancreatitis.	Pancreas.	36(2)	133-140	2008
Okazaki K.	Are regulatory molecules for T cells involved in the development of autoimmune pancreatitis?	Am J Gastroenterol	103(3)	595-596	2008
Sakaguchi Y, Inaba M, Tsuda M, Quan GK, Omae M, Ando Y, Uchida K, Okazaki K, Ikehara S.	The Wistar Bonn Kobori rat, a unique animal model for autoimmune pancreatitis with extrapancreatic exocrinopathy.	Clin Exp Immunol.	152(1)	1-12	2008
Fukui T, Mitsuyama T, Takaoka M, Uchida K, Matsushita M, Okazaki K.	Pancreatic cancer associated with autoimmune pancreatitis in remission.	Intern Med.	47(3)	151-155	2008
岡崎和一, 内田一茂	自己免疫性膵炎の診断—海外とわが国の診断基準の比較	日本消化器病学会	第105巻 第4号	486-493	2008
岡崎和一	自己免疫性膵炎における最近の話題	W'Waves 日本癌病態治療研究会誌	vol.14 No.1	28-29	2008
岡崎和一, 三好秀明, 小薮雅紀, 内田一茂	自己免疫性膵炎 (IgG4 disease)	分子消化器病	vol.5 No.2	54-61	2008
岡崎和一, 内田一茂, 池浦 司, 福井寿朗, 松下光伸, 高岡 亮	自己免疫性膵炎の診断—活動度評価—	肝胆膵	別刷 第56巻 第2号	215-221	2008
神澤輝実, 岡崎和一, 川 茂幸, 下瀬川徹, 大槻 眞	自己免疫性膵炎 (AIP) の臨床診断基準に関する国際コンセンサスについて	膵臓	23(5)	570-577	2008
Taii A, Sakagami J, Mitsufuji S, Kataoka K	Acute Pancreatitis from Mumps Re-infection in Adulthood. A Case Report	JOP	9(3)	322-326	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
Taniguchi H, Yoshida T, Horinaka M, Yasuda T, A E. Goda, Konishi M, Wakada M, Kataoka K, Yoshikawa T, Sakai T	Baicalein overcomes tumor necrosis factor-related apoptosis-inducing ligand resistance via two different cell-specific pathways in cancer cells but not in normal cells	Cancer Res	68(21)	8918-8927	2008
片岡慶正	急性膵炎重症度判定基準2008改訂—検証と今後の展開—	日消誌	105(8)	1166-1173	2008
片岡慶正, 下瀬川徹, 大槻 眞	第2章 慢性膵炎 慢性膵炎ガイドライン. 新しい診断と治療のABC 消化器8 膵炎・膵癌	最新医学社		107-121	2008
阪上順一, 片岡慶正, 十亀義生, 泰井敦子, 馬場武彦, 土佐正俊, 信田みすみ, 谷口浩也, 保田宏明, 吉川敏一	各重症度判定基準における死亡予測. 特集「重症急性膵炎の治療と予後」	消化器科	46(5)	556-560	2008
阪上順一, 片岡慶正, 光藤章二, 十亀義生, 保田宏明, 吉川敏一	慢性膵炎の経過観察中に膵癌発見の契機となる画像所見. 特集「慢性膵炎は膵癌の危険因子か」	胆と膵	20(3)	247-251	2008
阪上順一, 片岡慶正, 保田宏明	重症急性膵炎診療の最前線. 特集「“難病診療の最前線①”」	京府医大誌	117(8)	641-649	2008
木原康之, 大槻 眞	わが国の急性膵炎の実態調査と医療給付制度	医療の門	48	121-127	2008
木原康之, 大槻 眞	急性膵炎の発症・重症化機序	日本消化器病学会雑誌	105	1157-1165	2008
武田和憲	急性膵炎—定義・概念・疫学	最新医学	54	9-15	2008
武田和憲	急性膵炎重症化機序としての vasospasm	膵臓	23	66-73	2008
武田和憲	急性膵炎をめぐる最近の動向	胆と膵	29	277-279	2008
武田和憲	急性膵炎の新しい画像診断	Innervision	23	51-55	2008
武田和憲	慢性膵炎: Frey の手術	消化器外科	31	1107-1116	2008
武田和憲	透析患者のための診断基準・重症度スコア: 臓器別のアプローチ—消化器10 急性膵炎	臨床透析	24	2032-2034	2008
武田和憲	急性膵炎重症度判定基準—造影 CT Grade—	日本消化器外科学会雑誌	105	1178-1185	2008
武田和憲	感染性膵壊死に対する低侵襲手術—Videoscopic-assisted necrosectomy—	胆と膵	29	1353-1359	2008
武田和憲	エビデンスに基づいた急性膵炎の診療ガイドライン第2版(2007)	診断と治療	96	1856-1864	2008
武田和憲	急性膵炎の重症度判定基準—現行基準と改訂案との違い, 問題点	臨床消化器内科	23	1407-1414	2008
Yasuda T, Takeyama Y, Ueda T, Shinzeki M, Sawa H, Nakajima T, Kamei K, Ku Y, Kuroda Y, Ohyanagi H.	Increased levels of soluble triggering receptor expressed on myeloid cells-1 in patients with acute pancreatitis.	Crit Care Med	36(7)	2048-53	2008
Kamei K, Takeyama Y, Yasuda T, Kawasaki M, Ueda T, Ohyanagi H, Shiozaki H.	Early Infection to Peripancreatic Tissue in Mild Acute Pancreatitis: Report of a Case.	Surg Today	in press		
Shinzeki M, Ueda T, Takeyama Y, Yasuda T, Matsumura N, Sawa H, Nakajima T, Matsumoto I, Fujita T, Ajiki T, Fujino Y, Kuroda Y.	Prediction of the early death in severe acute pancreatitis.	J Gastroenterol	43(2)	152-8	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
Yasuda T, Ueda T, Takeyama Y, Shinzeki M, Sawa H, Nakajima T, Kuroda Y.	Long-term outcome of severe acute pancreatitis.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	15(4)	397-402	2008
Sawa H, Ueda T, Takeyama Y, Yasuda T, Shinzeki M, Matsumura N, Nakajima T, Kuroda Y	Expression of toll-like receptor 2 and 4 in intestinal mucosa in experimental severe acute pancreatitis.	Hepatogastroenterol	in press		
竹山宜典	急性膵炎重症判定基準 外科医の立場から	日本消化器病学会雑誌	105(8)	1174-1177	2008
安田武生, 上田 隆, 竹山宜典, 新関 亮, 沢 秀博, 中島高広, 松本逸平, 味木徹夫, 具 英成, 黒田嘉和	重症急性膵炎における予後判定因子の性差	日本消化器外科学会雑誌	41(9)	1669-1676	2008
安田武生, 竹山宜典, 上田 隆, 中島高広, 沢 秀博, 新関 亮, 大柳治正.	重症急性膵炎腹水を用いた実験系	膵臓	23(1)	31-35	2008
竹山宜典	膵炎研究における最近の進歩	膵臓	23(1)	15-19	2008
竹山宜典	急性膵炎診療ガイドライン改訂版における外科治療の問題点	胆と膵	29(4)	287-291	2008
上田 隆, 竹山宜典, 安田武生, 中島高広, 沢 秀博, 新関 亮, 具 英成, 黒田嘉和, 大柳治正.	重症急性膵炎における感染対策	胆と膵	29(4)	317-324	2008
安田武生, 竹山宜典, 上田 隆, 新関 亮, 亀井敬子, 新崎 亘, 里井俊平, 大柳治正.	重症急性膵炎における感染対策と外科治療	消化器科	46(5)	576-583	2008
竹山宜典	慢性膵炎疼痛治療と長期予後 外科サイドから	臨床消化器内科	23(10)	1443-1450	2008
竹山宜典	感染性膵壊死の診断 Fine needle aspiration	医薬の門	48(1)	52-55	2008
竹山宜典, 黒田嘉和	重症急性膵炎の栄養管理	外科	7(10)	1104-1108	2008
岸 真示, 竹山宜典	PSC の活性化 膵管閉塞	肝・胆・膵	55(6)	1217-1222	2008
Maruyama K, Harada S, Yokoyama A, Mizukami S, Naruse S, Hirota M, Nishimori I, Otsuki M.	Association Analyses of Genetic Polymorphisms of GSTM1, GSTT1, NQO1, NAT2, LPL, PRSS1, PSTI, and CFTR With Chronic Alcoholic Pancreatitis in Japan.	Alcohol Clin Exp Res.		in press	2008
Nishimori I, Onishi S, Otsuki M	Review of diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis; for establishment of international criteria	Clin J Gastroenterol	1	7-17	2008
Maruyama K, Harada S, Yokoyama A, Naruse S, Hirota M, Nishimori I, Otsuki M.	Association analysis among polymorphisms of the various genes and chronic alcoholic pancreatitis.	J Gastroenterol Hepatol.	Suppl 1	S69-72	2008
Park SW, Chung JB, Otsuki M, Kim M, Lim JH, Kawa S, Ito T, Nishimori I, Ryu JK, Okazaki K, Lee K, Kamisawa T:	Korea-Japan symposium on autoimmune pancreatitis	Gut Liver	2	81-87	2008
西森 功, 大槻眞, 大西三朗	自己免疫性膵炎の2006年改定診断基準の国際比較とアジア統一基準	肝胆膵	56	167-177	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
Hirota M, Kanemitsu K, Takamori H, Chikamoto A, Hayashi N, Horino K, Baba H	Percutaneous trans fistulous pancreatic duct drainage and interventional pancreatojejunostomy as a treatment option for intractable pancreatic fistula.	Am J Surg	196	280-284	2008
Hashimoto D, Ohmuraya M, Hirota M, Yamamoto A, Suyama K, Ida S, Okumura Y, Takahashi E, Kido H, Araki K, Baba H, Mizushima N, Yamamura K	Involvement of Autophagy in trypsinogen activation within the pancreatic acinar cells.	J Cell Biol	181	1065-1072	2008
広田昌彦	急性膵炎の重症化機序	侵襲と免疫	17(3)	13-20	2008
Suyama K, Ohmuraya M, Hirota M, Ozaki N, Ida S, Endo M, Araki K, Gotoh T, Baba H, Yamamura K	C/EBP homologous protein is crucial for the acceleration of experimental pancreatitis.	Biochem Biophys Res Commun	367	176-182	2008
広田昌彦, 高森啓史, 田中 洋, 生田義明, 佐藤伸隆, 田中洋平, 馬場秀夫	急性膵炎 (重症膵炎を含む)	救急・集中治療	20	381-386	2008
広田昌彦, 大村谷昌樹, 陶山浩一, 尾崎宣之, 井田 智, 田中 洋, 高森啓史, 馬場秀夫	急性膵炎重症化の分子機構	胆と膵	29	313-316	2008
明石隆吉, 清住雄昭, 宮本英明, 堤 英治, 山之内健伯, 上田城久朗, 中原和之, 田村文雄, 浜田知久馬	ERCP 膵炎は乳頭括約筋機能不全と関連するか	胆と膵	29	845-851	2008
明石隆吉, 清住雄昭, 上田城久朗, 相良勝郎, 浜田知久馬	ERCP 後膵炎の現状と対策	Gastroenterol Endosc	50	1079-1092	2008
田中秀紀, 明石隆吉, 清住雄昭, 相良勝郎, 佐々木裕	通常型パピロトームによるプレカット法	胆と膵	29	45-50	2008
明石隆吉, 清住雄昭, 宮本英明, 山之内健伯, 上田城久朗, 浜田知久馬	胆・膵疾患内視鏡治療の侵襲評価と周術期管理	サージェリーフロンティア	15	61-69	2008
伊佐地秀司	【急性膵炎の診療 update 外科的治療】ネクロセクトミー.	医薬の門	48巻	56-61	2008
中莖みゆき, 石黒 洋, 代田桂一, 山本明子, 洪 繁, 後藤秀実, 藤木理代, 近藤孝晴, 遠藤 彰, 成瀬 達	汗中クロライド濃度の簡便な測定法の開発	膵臓	23	486-493	2008
石黒 洋, 山本明子, 近藤孝晴	ΔF マウスと slc26a6 null マウスを用いた膵 HCO ₃ -分泌機構の解析	膵臓	23	25-30	2008
Ishiguro H, Steward MC, Naruse S, Ko SB, Goto H, Case RM, Kondo T, Yamamoto A	CFTR functions as a bicarbonate channel in pancreatic duct cells	J Gen Physiol		in press	2009

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
今村秀道, 入澤篤志, 引地拓人, 渋川悟朗, 高木忠之, 若槻 尊, 高橋裕太, 佐藤 愛, 佐藤匡記, 池田恒彦, 鈴木 玲, 小原勝敏, 大平弘正	EUS ガイド下膵仮性嚢胞ドレナージの偶発症と 対処	胆と膵	29	637-644	2008
入澤篤志, 渋川悟朗, 引地拓人, 高木忠之, 若槻 尊, 今村秀道, 高橋裕太, 佐藤 愛, 佐藤匡記, 池田恒彦, 鈴木 玲, 小原勝敏, 大平弘正	内視鏡的膵嚢胞ドレナージ術	臨床消化器内科	23	878-883	2008
江川新一, 元井冬彦, 乙供 茂, 阿部 永, 岡田恭穂, 力山敏樹, 片寄 友, 海野倫明.	膵頭十二指腸切除術の再建; 吻合法を中心に.	消化器外科	31	1255-1261	2008
Sakata N, Egawa S, Motoi F, Mikami Y, Ishida M, Aoki T, Ottomo S, Fukuyama S, Rikiyama T, Katayose Y, Goto M, Unno M	Institutional indications for islet transplantation after total pancreatectomy	J Hepatobiliary Pancreat Surg	15	488-492	2008
有明恭平, 森川孝則, 大塚英郎, 元井冬彦, 佐藤 俊, 富永 剛, 江川新一, 海野倫明	小腸腸間膜内に広範囲にわたり穿破した壊死性膵 炎後膵仮性嚢胞に対する 1 手術例	日本腹部救急医学会雑誌	28	969-972	2008
Takada H, Nakazawa T, Ohara H, Ando T, Hayashi K, Naito I, Okumura F, Tanaka H, Yamada T, Takahashi S, Joh T.	Role of osteopontin in calcification in autoimmune pancreatitis.	Dig Dis Sci	Jul 24.		2008
Hirano A, Nakazawa T, Ohara H, Ando T, Hayashi K, Tanaka H, Naito I, Okumura F, Yokoyama Y, Joh T.	Liver atrophy and portal stenosis in two cases of sclerosing cholangitis associated with autoim- mune pancreatitis.	Inter Med	47	1-20	2008
Naitoh I, Nakazawa T, Ohara H, Ando T, Hayashi K, Okumura F, Togawa S, Kitajima Y, Ban T, Miyabe K, Ueno K, Yamashita H, Joh T, Sano H.	A case of obstructive jaundice caused by impac- tion of a pancreatic stone in the papilla for which a needle knife precut papillotomy was effective.	JOP. J Pancreas (On- line)	9	520-525	2008
Naitoh I, Ohara H, Okayama Y, Nakazawa T, Ando T, Hayashi K, Okumura F, Kitajima Y, Ban T, Miyabe K, Ueno K, Joh T, Sano H.	Pseudocyst in the pancreatic tail associated with chronic pancreatitis successfully treated by trans- papillary cyst drainage.	Case Rep Gastroenterol	2	390-397	2008
Nakazawa T, Ohara H, Ando T, Hayashi K, Naito I, Okumura F, Tanaka H, Sano H, Joh T.	Clinical course and indications for steroid therapy of sclerosing cholangitis associated with autoim- mune pancreatitis.	Hepato Gastroenterol			in press

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
中沢貴宏, 大原弘隆, 安藤朝章, 今井英人, 林 香月, 田中創始, 小川観人, 内藤 格, 奥村文浩, 城 卓志	自己免疫性膵炎に伴う硬化性胆管炎	肝胆膵	56	223-232	2008
中沢貴宏, 大原弘隆, 安藤朝章, 林 香月, 城 卓志	自己免疫性膵炎に伴う硬化性胆管炎の特徴	日消誌	105	502-510	2008
神澤輝実, 柳町 幸, 丹藤雄介, 中村光男	生活習慣病としての慢性膵炎	老年消化器病	19巻3号	171-174	2008
Kamisawa T	Diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis	J Clin Gastroenterol	42	404-407	2008
神澤輝実, 江川直人, 倉田昌直, 本田五郎, 鶴田耕二, 岡本篤武	アルコール性, 非アルコール性慢性膵炎における 悪性腫瘍の発症頻度: 膵癌を中心に	胆と膵	29(3)	207-210	2008
神澤輝実	自己免疫性膵炎から全身性疾患への展開	日本消化器病学会雑誌	105(4)	479-485	2008
Kamisawa T, Okamoto A, Wakabayashi T, Watanabe H, Sawabu N	Appropriate steroid therapy for autoimmune pan- creatitis based on long-term outcome	Scand J Gastroenterol	43	609-613	2008
Kamisawa T, Yu Y, Egawa N, Tsuruta K, Okamoto A, Kodama M, Kamata N	Can MRCP replace ERCP for the diagnosis of au- toimmune pancreatitis?	Abdom Imaging	Epub Ahead of print		2008
神澤輝実	膵胆管形成異常の臨床	日本消化器病学会雑誌	105(5)	669-678	2008
Kamisawa T, Tu Y, Egawa N, Tsuruta K, Okamoto A	A new diagnostic endoscopic tool for autoimmune pancreatitis	Gastrointest Endosc	68	358-361	2008
Tsuboi H, Inokuma S, Setoguchi K, Shuji S, Hagino N, Tanaka Y, Yoshida N, Hishima T, Kamisawa T	Inflammatory pseudotumors in multiple organs associated with elevated serum IgG4 level: recov- ery by oral a small replacement dose of steroid	Intern Med	47	1139-1142	2008
神澤輝実, 江川直人, 倉田昌直, 本田五郎, 鶴田耕二, 岡本篤武	ERCPにて検討した膵胆管の十二指腸開口様式 と膵胆道疾患との関係	胆膵の生理機能	24	7-9	2008
Kamisawa T	Immunoglobulin G γ -positive plasma cells in or- gans of patients with autoimmune pancreatitis	Clin Gastroenterol Hepatol	6	715	2008
Kamisawa T	IgG4-related sclerosing disease	World J Gastroenterol	14	3948-3955	2008
神澤輝実	副乳頭に対する内視鏡的アプローチ: 膵管癒合不 全を中心に	Gastroenterol Endosc	50	1764-1768	2008
Kamisawa T, Okazaki K, Kawa S	Diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis in Japan	World J Gastroenterol	14	4992-4994	2008
Kamisawa T, Kubota N, Okamoto T	Pancreaticopleural fistula visualized by mul- tidetector row computed tomography	Clin Gastroenterol Hepatol	6	e29-e30	2008
Kamisawa T, Anjiki H, Egawa N	Rapid disappearance of a pancreatic cyst after steroid therapy in a patient with autoimmune pan- creatitis	Clin Gastroenterol Hepatol	6	e33-e34	2008
Kamisawa T, Satake K	Therapeutic strategy for autoimmune pancreatitis	Adv Med Sci	53	145-148	2008
神澤輝実, 久保田尚子, 岡本 朋, 柳町 幸, 丹藤雄介, 中村光男	高齢者に好発する自己免疫性膵炎患者の消化吸収 能	老年消化器病	20	89-92	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
Kamisawa T, Imai M, Chen PY, Tu Y, Egawa N, Tsuruta K, Okamoto A, Suzuki M, Kamata N	Strategy for differentiating autoimmune pancreatitis from pancreatic cancer	Pancreas	37	e62-e67	2008
Kamisawa T, Imai M, Egawa N, Tsuruta K, Okamoto A	Serum IgG4 levels and extrapancreatic lesions in autoimmune pancreatitis	Eur J Gastroenterol Hepatol	20	1167-1170	2008
神澤輝実, 安食 元, 雨宮こずえ, 江川直人, 倉田昌直, 本田五郎, 岡本篤武	十二指腸副乳頭の臨床的意義	胆と膵	29	983-986	2008
Endo T, Takizawa S, Tanaka S, Takahashi M, Fujii H, Kamisawa T, Kobayashi T	Amylase α -2A autoantibodies: novel marker of autoimmune pancreatitis and fulminant type 1 diabetes mellitus	Diabetes	58	732-737	2008
Kamisawa T, Kurata M, Honda G, Tsuruta K, Okamoto A	Biliopancreatic reflux-pathophysiology and clinical implications	J Hepatobiliary Pancreat Surg	16	19-24	2008
Ozaki Y, Oguchi K, Hamano H, Arakura N, Muraki T, Kiyosawa K, Momose M, Miyata K, Aizawa T, Kawa S	Differentiation of autoimmune pancreatitis from suspected pancreatic cancer by FDG-PET	J Gastroenterol	43	144-51	2008
Kamisawa T, Okazaki K, Kawa S.	Diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis in Japan.	World J Gastroenterol.	28	4992-4994	2008
Kawa S, Kitahara K, Hamano H, Ozaki Y, Arakura N, Yoshizawa K, Umemura T, Ota M, Mizoguchi S, Shimozuru Y, Bahram S.	A novel immunoglobulin-immunoglobulin interaction in autoimmunity.	PLoS ONE	20	e1637	2008
Uehara T, Hamano H, Kawakami M, Koyama M, Kawa S, Sano K, Honda T, Oki K, Ota H.	Autoimmune pancreatitis-associated prostatitis: distinct clinicopathological entity.	Pathol Int	58	118-25	2008
Tanaka N, Horiuchi A, Yokoyama T, Kawa S, Kiyosawa K.	Pancreatic exocrine insufficiency: a rare cause of nonalcoholic steatohepatitis.	Am J Gastroenterol	103	245-6	2008
Kitahara K, Kawa S, Katsuyama Y, Umemura T, Ozaki Y, Takayama M, Arakura N, Ota M.	Microsatellite scan identifies new candidate genes for susceptibility to alcoholic chronic pancreatitis in japanese patients.	Dis Markers	25	175-80	2008
川 茂幸	自己免疫性膵炎の免疫異常	日本消化器病学会雑誌	105	494-501	2008
川 茂幸, 北原 桂, 浜野英明, 高山真理, 新倉則和	自己免疫性膵炎の自然経過（再発と膵石形成）と膵外病変	肝・胆・膵	56	179-185	2008
北川元二	診療ガイドダイジェスト 消化器 急性膵炎	治療	20巻(増刊号)	58-59	2008
北川元二	消化器医が取り組む肥満治療 メタボリックシンドロームにおける膵障害の検討	消化器科	47巻4号	377-382	2008
桐山勢生, 熊田 卓, 谷川 誠, 金森 明	胆石性急性膵炎の診療における診療ガイドライン改訂版の問題点とその運用	胆と膵	29	293-300	2008
桐山勢生	内科必携画像診断 Imaging Revolution II. 消化器 急性膵炎・慢性膵炎	内科	101	1174-1178	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
Yasuda T, Ueda T, Matsumoto I, Shirasaka D, Nakajima T, Sawa H, Shinzeki M, Kim Y, Fujino Y, <u>Kuroda Y.</u>	Cronkhite-Canada syndrome presenting as recurrent severe acute pancreatitis.	Gastrointestinal Endoscopy	67(3)	570-572	2008
Endo K, <u>Sata N,</u> Shimura K, Yasuda Y.	Pancreatic arteriovenous malformation: a case report of hemodynamic and three-dimensional morphological analysis using multi-detector row computed tomography and post-processing methods.	JOP	10	59-63	2009
佐田尚宏, 笠原尚哉, 森嶋 計, 小泉 大, 笹沼英紀, 佐久間康成, 清水 敦, 俵藤正信, 安田是和	【十二指腸病変に対する外科的アプローチ】膵温存十二指腸第2・3部切除術	臨床外科	63	1537-1543	2008
須田耕一, 高瀬 優, 福村由紀, 鈴木不二彦	膵の慢性炎症性変化と膵癌でみられる炎症性変化に病理組織学的な差異はあるか	胆と膵	29(3)	195-198	2008
須田耕一	慢性膵炎と膵癌—病理学的見解	臨床消化器内科	23(10)	1451-1456	2008
太田悠司, 菊山正隆, 笹田雄三, 松橋 享, 仲程 純, 高瀬 優, <u>須田耕一</u>	膵管分枝癒合を背景に短期間で発症した腹側膵に限局する慢性膵炎の1例	膵臓	23(5)	628-633	2008
Tsuji Y, Chiba T	Are prophylactic antibiotics really ineffective in reducing the risk of pancreatic necrosis?	Am J Gastroenterol	103(8)	2145-2146	2008
Ueno K, Watanabe T, Kawata Y, Gotoh T, Tsuji Y, Ida H, <u>Tada S,</u> Yazumi S, Chiba T.	IgG4-related autoimmune pancreatitis involving the colonic mucosa	Eur J Gastroenterol Hepatol	20(11)	1118-1121	2008
Watanabe T, Ohta S, Iwamoto S, Tsuji Y, Morita S, Doi I, Ueda Y, Chiba T.	Small bowel anisakiasis with self-limiting clinical course	Intern Med	47(24)	2191-2192	2008
Shio S, Yazumi S, Ogawa K, Hasegawa K, Tsuji Y, Kida M, Yamauchi J, Ida H, <u>Tada S,</u> Uemoto S, Chiba T	Biliary complications in donors for living donor liver transplantation	Am J Gastroenterol	103(6)	1393-1398	2008
辻 喜久, 山本 博	【症例からみた「消化器病」の診断と治療の進め方】膵胆道疾患 胸いっぱい痛み (解説/特集)	月刊レジデント	1巻9号	82-86	2008
辻 喜久	急性膵炎の重症化 重症急性膵炎の急性期治療	侵襲と免疫	17巻3号	73-82	2008
辻 喜久	【急性膵炎をめぐる最近の動向】急性膵炎画像診断における Perfusion CT の有用性	胆と膵	29巻4号	307-311	2008
松本敦史, 柳町幸, <u>中村光男</u>	Benzoyl-L-Tyrosyl-[1- ¹³ C] Alanine による膵性消化吸収不良診断呼吸検査法の臨床応用の可能性	消化と吸収	30-2	31-34	2008
柳町 幸, 丹藤雄介, <u>中村光男</u>	膵外分泌機能検査における呼吸試験の位置づけ	消化と吸収	30-2	10-11	2008
松本敦史, 丹藤雄介, 柳町 幸, 野木正之, 柿崎綾女, 佐藤江里, 松橋有紀, 田中 光, 小川吉司, <u>中村光男</u>	呼吸試験による膵外分泌機能不全診断法—疑陽性を来す疾患に関する検討—	安定同位体と生体ガス	1	50-55	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
松本敦史, 野木正之, 鈴木理恵, 柿崎綾女, 佐藤江里, 松橋有紀, 田中 光, 柳町 幸, 丹藤雄介, 小川吉司, 須田俊宏, 中村光男	Benzoyl-L-Tyrosyl-[1- ¹³ C] Alanine を用いた膵外分泌呼気検査法の信頼性	¹³ C 医学	18	26-27	2008
鈴木理恵, 松本敦史, 野木正之, 柿崎綾女, 佐藤江里, 松橋有紀, 田中 光, 柳町 幸, 丹藤雄介, 小川吉司, 中村光男	Benzoyl-L-Tyrosyl-[1- ¹³ C] Alanine 呼気試験による膵性糖尿病患者の膵外分泌機能評価	¹³ C 医学	18	28-29	2008
松本敦史, 野木正之, 柿崎綾女, 佐藤江里, 松橋有紀, 田中 光, 柳町 幸, 丹藤雄介, 小川吉司, 増田光男, 中村光男	呼気試験による膵外分泌機能検査法の可能性	胆膵の生理機能	24	33-36	2008
丹藤雄介, 中村光男, 松本敦史, 柿崎綾女, 佐藤江里, 松橋有紀, 田中 光, 柳町 幸	ベッドサイドの膵外分泌機能検査	臨床消化器内科	23	513-517	2008
佐藤江里, 田村綾女, 丹藤雄介, 須田俊宏, 中村光男, 山岸昌一	SDT ラットにおけるセルレイン誘導浮腫性膵炎と RAGE の発現	弘前医学	59	110-117	2008
新井 修, 松枝和宏, 片山幸子, 平尾 謙, 三好正嗣, 毛利裕一, 能登原憲司, 山本 博	経過中に多重複瘍を合併した自己免疫性膵炎の 1 例	日本消化器病学会雑誌	105	711-718	2008
能登原憲司	IgG4 関連硬化性疾患：膵病変	病理と臨床	27	25-30	2009
古屋智規, 高橋賢一, 橋爪隆弘, 和嶋直紀, 木村昭利, 菅原和子	重症急性膵炎における栄養管理 —Synbiotics 早期経鼻的空腸栄養法の重要性と栄養サポートチームの役割について—	日腹部救急医誌	28巻 7号	909-913	2008
真弓俊彦, 渡邊 出, 鈴木秀一, 小野寺睦雄, 都築通孝, 福地正仁, 有嶋拓郎, 高橋英夫, 武澤 純	急性膵炎 (ガイドラインをふまえて)	消化器外科	31	481-489	2008
平田公一, 真弓俊彦, 吉田雅博, 関本美穂, 木村康利, 高田忠敬	「急性膵炎診療ガイドライン」改訂第 2 版—改訂の要点とその解説・問題点—	臨床消化器内科	23	1395-1405	2008
真弓俊彦, 渡邊 出, 有嶋拓郎, 小野寺睦雄, 高橋英夫, 武澤 純, 高田忠敬, 平田公一, 吉田雅博, ガイドライン作成ワーキンググループ	改訂された「急性膵炎の診療ガイドライン」ガイドライン再版に際して浮かび上がった問題点	腹部救急医学会雑誌	28	551-555	2008
真弓俊彦, 鈴木秀一, 小野寺睦雄, 都築通孝, 有嶋拓郎, 高橋英夫	重症急性膵炎患者へのアプローチ	治療	90	2538-2544	2008
真弓俊彦, 鈴木秀一, 小野寺睦雄, 都築通孝, 有嶋拓郎, 高橋英夫	急性膵炎による生体侵襲	救急・集中治療	20	1149-1154	2008
真弓俊彦, 鈴木秀一, 小野寺睦雄, 都築通孝, 有嶋拓郎, 高橋英夫	エビデンスに基づいた急性膵炎の診療ガイドライン	救急医学	32	1201-1207	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌	巻号	ページ	出版年
山口武人, 瀬座勝志, 中村和貴, 須藤研太郎, 原 太郎, 伝田忠道, 石原 武	慢性膵炎疼痛治療と長期予後 —内科サイドから	臨床消化器内科	Vol.23 No.10	1435-1441	2008
北村勝哉, 吉田 仁, 本間 直, 山崎貴久, 湯川明浩, 池上覚俊, 田中滋城, 井廻道夫	重症急性膵炎における immunonutrition	小児外科	40	937-940	2008
Yamazaki. T, Yoshida. H, Honma. T, Ikegami. A, Niikawa. J, Tanaka. S, Awai. T, Yukawa. A, Kitamura. K, Hanawa. K, Imamura. T, Imawari. M	Regeneration after Two Types of Rat Acute Pan- creatitis Compared with Human Autoimmune Pancreatitis	Showa Univ J Med Sci	20	161-177	2008
信澤 宏, 橋本東児, 扇谷芳光, 後閑武彦, 松井青史, 吉田 仁, 田中滋城, 北村勝哉, 池上覚俊, 井廻道夫, 久島巳樹	自己免疫性膵炎の膵胆道外病変	日獨医報	53	357-368	2008
北村勝哉, 吉田 仁, 本間 直, 山崎貴久, 湯川明浩, 池上覚俊, 田中滋城, 井廻道夫	重症急性膵炎に対する synbiotics 療法の試み	Digestion & Absorption	31	76-80	2008
今村綱男, 小泉優子, 小山里香子, 奥田近夫, 竹内和男, 松田正道, 橋本雅司, 渡邊五朗, 吉田 仁, 井廻道夫	通常型膵管癌に対する膵管洗浄液細胞診の有用性 ～胆膵領域の新たな検体採取方法	Gastroenterol Endosc	51	84-90	2009
吉村邦彦	呼吸器症候群 (第2版) I —その他の呼吸器疾 患を含めて— III 閉塞性肺疾患・気管支の異常 A. 閉塞性肺 疾患 嚢胞性線維症	別冊日本臨牀 新領域別 症候群シリーズ	No.8	654-663	2008
Hozawa, S	Induction of matrix metalloproteinase-1 gene transcription by tumour necrosis factor alpha via the p50/p50 homodimer of nuclear factor-kappa B in activated human hepatic stellate cells.	Liver International	28(1)	1418-1425	2008
Saeki, K	IgG4-negative autoimmune pancreatitis with sclerosing cholangitis and colitis: possible associa- tion with primary sclerosing cholangitis?	Internal Medicine	47(10)	943-8	2008

資料

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
難治性膵疾患に関する調査研究班

急性膵炎の全国調査ご協力のお願い

拝啓

晩秋の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども厚生労働省難治性疾患克服研究事業の難治性膵疾患に関する調査研究班では、調査研究の一環として、従来より膵炎の全国調査を行っております。

前回調査によりますと、2003年1年間の本邦における急性膵炎受療患者数は35,300人と推定されており、右肩上がりに発症数は増加を続けております。重症例の死亡率は低下してきておりますが、発症数の増加によりなお年間1,000人を超える死亡数が予想される難治性疾患であります。

このような実状をふまえ、私ども研究班では全国調査を行い、急性膵炎の受療患者数の推計と実態の把握を計画しております。本調査研究の意図をお汲み頂き、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお本調査に関しまして、ご不明の点などがございましたら、下記までお問い合わせ頂ければ幸いです。

先生ならびに貴施設の益々のご活躍・ご発展をお祈り申し上げます。

敬具

平成20年11月吉日

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
難治性膵疾患に関する調査研究班
班長：下瀬川 徹(東北大学消化器病態学分野)
〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1
Tel : 022-717-7171
Fax : 022-717-7177
e-mail : suizo@m.tains.tohoku.ac.jp

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
難治性膵疾患に関する調査研究班
急性膵炎の全国調査：一次調査票

御所属：_____病院 _____科

御氏名：_____先生

記載年月日：平成20年_____月 _____日

平成19年1月1日～平成19年12月31日に貴科を受診された急性膵炎の症例数についてお答えください。

急性膵炎

なし あり（男性_____人、女性_____人）

ご記入上の注意事項

- 1.慢性膵炎の急性発症(急性増悪)も急性膵炎としてお取り扱い下さい。
- 2.該当する患者がいない場合も、全国の患者数推計に必要ですので、調査票の「なし」に印をつけ、ご返送くださいますようお願い申し上げます。
2. 後日、各症例について二次調査を行いますので御協力をお願いいたします。
3. 平成20年12月7日までにご返送くださいますようお願いいたします。

御協力有難うございました。

集荷のご用命はこちらまで(ヤマト運輸 9:00～17:00)

0120-11-8010

※ポストへのご投函はご容赦願います。

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
難治性膵疾患に関する調査研究班

慢性膵炎・自己免疫性膵炎の全国調査ご協力をお願い

拝啓

晩秋の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども厚生労働省難治性疾患克服研究事業の難治性膵疾患に関する調査研究班では、調査研究の一環として、従来より膵炎の全国調査を行っております。ご承知のように、我が国ではアルコール消費量の増大に伴い、慢性膵炎症例が増加しております。女性では依然として原因不明のいわゆる特発性慢性膵炎が多くみられます。一方、膵腫大と膵管狭細像を呈し、ステロイド剤が奏効する膵炎症例が自己免疫性膵炎として報告されるようになりました。

このような実状をふまえ、私ども研究班では全国調査を行い、慢性膵炎・自己免疫性膵炎の受療患者数の推計と実態の把握を計画しております。本調査研究の意図をお汲み頂き、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお本調査に関しまして、ご不明の点などがございましたら、下記までお問い合わせ頂ければ幸いです。

先生ならびに貴施設の益々のご活躍・ご発展をお祈り申し上げます。

敬具

平成20年11月吉日

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
難治性膵疾患に関する調査研究班
班長：下瀬川 徹(東北大学消化器病態学分野)
〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1
Tel : 022-717-7171
Fax : 022-717-7177
e-mail : suizo@m.tains.tohoku.ac.jp
分担研究者：西森 功(高知大学医学部光学医療診療部)
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
Tel & Fax : 088-880-2338
e-mail : nisao@kouchi-u.ac.jp

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
難治性膵疾患に関する調査研究班
慢性膵炎・自己免疫性膵炎の全国調査：一次調査票

御所属：_____病院 _____科

御氏名：_____先生

記載年月日：平成20年____月 ____日

平成19年1月1日～平成19年12月31日に貴科を受診された慢性膵炎・自己免疫性膵炎の症例数(新規症例、継続療養症例)についてお答えください。

① 慢性膵炎* (確定、準確定例で自己免疫性膵炎を含まない)

新規症例 なし あり (男性_____人、女性_____人)

継続療養症例 なし あり (男性_____人、女性_____人)

② 自己免疫性膵炎**

新規症例 なし あり (男性_____人、女性_____人)

継続療養症例 なし あり (男性_____人、女性_____人)

ご記入上の注意事項

- 慢性膵炎臨床診断基準*、自己免疫性膵炎臨床診断基準2006**を満たす例が対象となります。両基準については、同封の診断基準をご参照ください。
- 該当する患者がない場合も、全国の患者数推計に必要ですので、調査票の「なし」に印をつけ、ご返送くださいますようお願いいたします。
- 後日、各症例について二次調査を行いますので御協力をお願いいたします。
- 平成20年12月7日までにご返送くださいますようお願いいたします。

御協力有難うございました。

集荷のご用命はこちらまで(ヤマト運輸 9:00～17:00)

0120-11-8010

※ポストへのご投函はご容赦願います。

■慢性膵炎の臨床診断基準（膵臓16: 560-561,2001）

慢性膵炎は、(1)確診例 (definite chronic pancreatitis)(図3)と、(2)準確診例 (probable chronic pancreatitis)(図4)に分類される。さらに、上腹部痛・圧痛が持続または再発継続しており、血清膵酵素の異常を伴うなど膵に関する各種検査 に異常をみることもあるが、慢性膵炎確診・準確診に該当しないものを、(3)慢性膵炎疑診例(possible chronic pancreatitis)とする。慢性膵炎の診断基準にはセクレチン試験と便中キモトリプシン、BT-PABA(PFD試験)の機能検査が採用されているが、日本ではセクレチン試験と便中キモトリプシン測定は施行出来ないので、現在は画像所見のみで慢性膵炎が診断されている。

図3. 慢性膵炎確診例診断手順

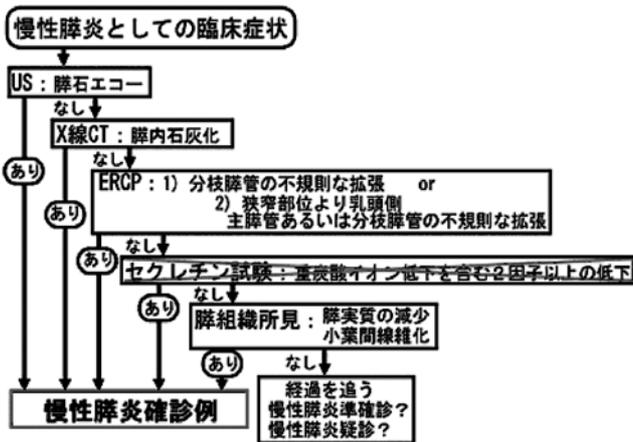
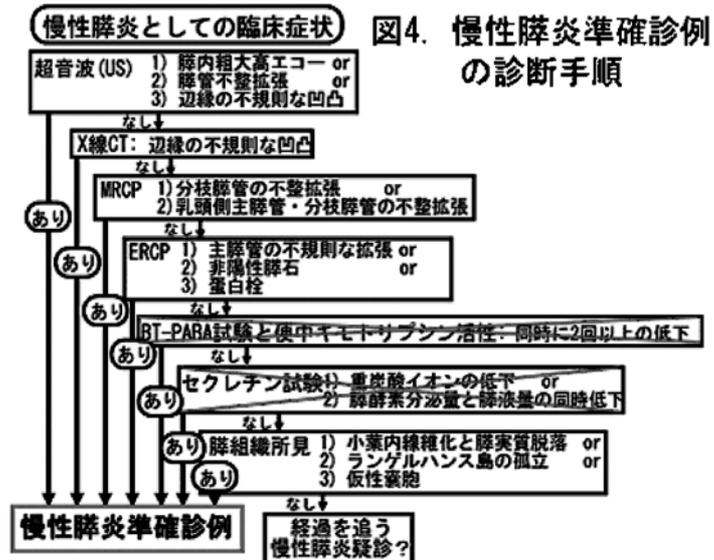


図4. 慢性膵炎準確診例の診断手順



本臨床診断基準で確診・準確診に合致しないことのある膵臓の慢性炎症には、(a) 慢性閉塞性膵炎 (明らかな膵管閉塞・狭窄部の上流の膵管系に拡張した分枝膵管が限局して存在)と、(b) 膵管狭細型慢性膵炎 (膵管系全体が狭窄を示し、自己免疫異常の関与が疑われる)がある。膵管狭細型慢性膵炎には自己免疫異常の関与が考えられ、最近では自己免疫性膵炎と呼ばれている。

■自己免疫性膵炎臨床診断基準2006

(厚生労働省難治性膵疾患に関する調査研究班・日本膵臓学会)

1. 膵画像検査で特徴的な主膵管狭細像と膵腫大を認める。
2. 血液検査で高γグロブリン血症、高IgG血症、高IgG4血症、自己抗体のいずれかを認める。
3. 病理組織学的所見として膵にリンパ球、形質細胞を主とする著明な細胞浸潤と線維化を認める。

上記の1を含め2項目以上を満たす症例を自己免疫性膵炎と診断する。但し、膵癌・胆管癌などの悪性疾患を除外することが必要である。

難病情報センター ホームページ(http://www.nanbyou.or.jp/sikkan/111_i.htm)より

参 考

- 1) 第 1 回研究打ち合わせ会プログラム
- 2) 第 2 回研究報告会プログラム

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
難治性瘰疾患に関する調査研究班
研究代表者：下瀬川 徹

平成 20 年度 第 1 回研究打ち合わせ会
プログラム

日 時：平成 20 年 7 月 15 日（火）10：30～17：00

会 場：東京ステーションコンファレンス

千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 6 階 605

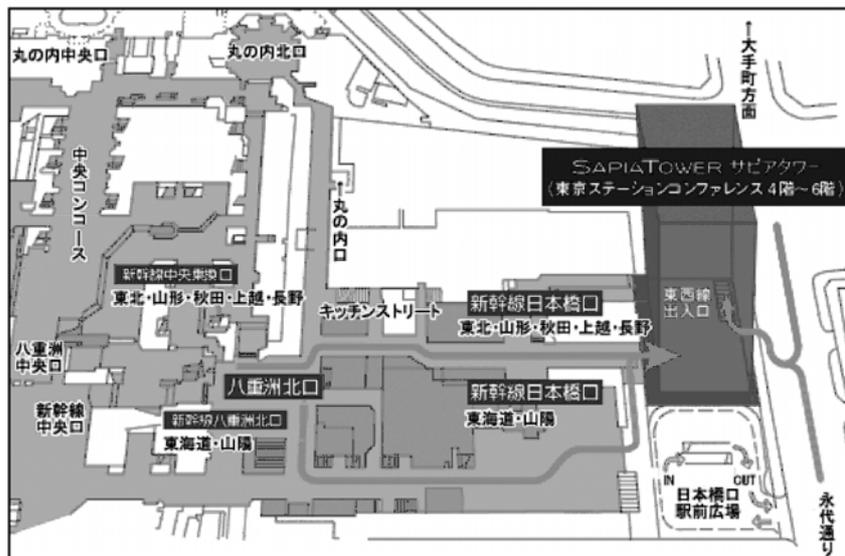
TEL 03-6888-8080（代表） FAX 03-6888-8062

【 発表に関するお願い 】

1. 発表データは、あらかじめ平成 20 年 7 月 10 日 (木) 午前中までに難治性障害に関する調査研究班事務局 (suizo@m.tains.tohoku.ac.jp) までe-mailにてお送りください。
2. PC (Windowsに限定)、PowerPoint による、プレゼンテーションのみとします。
3. プログラムに添った時間配分で進行しますので、時間厳守にご協力ください。

【 会場案内 】

サピアタワー周辺地図



新幹線東京駅日本橋口ー徒歩1分 東京駅八重洲北口ー徒歩2分

※地下 2~3 階に駐車場がございます。(300 円/30 分)

10 : 30 開会の辞

研究代表者 下瀬川 徹

10 : 32 ご挨拶

厚生労働省健康局疾病対策課 様

[1] 急性膵炎—共同研究 10 : 37~11 : 47 (発表 5 分、質疑 2 分)

1. 急性膵炎、重症急性膵炎の全国調査

研究代表者 下瀬川徹 (東北大学大学院消化器病態学)

佐藤賢一、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋

2. 重症急性膵炎治療開始の golden time の設定に関する検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
北川元二、真弓俊彦、下瀬川徹

3. 急性膵炎重症化の早期予知としての perfusion CT の有用性の検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
多田真輔、木村憲治、桐山勢生、
古屋智規、下瀬川徹

4. 急性膵炎重症度判定基準 (2008) の検証

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、木原康之、北川元二、
黒田嘉和、下瀬川徹

5. 急性膵炎の搬送基準、高次医療施設要件の設定

研究分担者 片岡慶正 (京都府立医科大学大学院消化器内科学)

武田和憲、竹山宜典、廣田昌彦、
黒田嘉和、下瀬川徹

6. 急性膵炎の早期診断法—尿中 trypsinogen2 の有用性の検討

研究分担者 片岡慶正 (京都府立医科大学大学院消化器内科学)

竹山宜典、伊藤鉄英、真弓俊彦、
伊佐地秀司、北川元二、阪上順一、
横江正道、下瀬川徹

7. 急性膵炎初期診療コンセンサスの改訂

研究分担者 伊藤鉄英 (九州大学大学院病態制御内科学)

五十嵐久人、木原康之、下瀬川徹

8. 重症急性膵炎の特殊療法の有用性に関する検証

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）

武田和憲、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二、古屋智規、羽鳥隆、
真弓俊彦、下瀬川徹

9. 急性膵炎の栄養と腸管対策に関する指針

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）

片岡慶正、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二、下瀬川徹

10. ERCP 後膵炎の暫定診断基準案の検証

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

明石隆吉、入澤篤志、大原弘隆、
山口武人、吉田仁、花田敬士、
五十嵐良典、木田光弘、川口義明、
森實敏夫、下瀬川徹

[2] 急性膵炎—各個研究 11 : 47~12 : 22（発表 3 分、質疑 2 分）

11. 重症急性膵炎に対する perfusion CT の応用の現状

研究協力者 多田真輔（京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座）
辻喜久

12. 新急性膵炎重症度スコアの有用性と新スコアによる動注療法と経腸栄養の適応決定

研究分担者 黒田嘉和（神戸大学大学院消化器外科学）
新関亮

13. 内臓脂肪蓄積と急性膵炎のリスク・予後に関する研究

研究分担者 片岡慶正（京都府立医科大学大学院消化器内科学）
阪上順一、保田宏明、吉川敏一

14. 膵腺房細胞におけるトリプシノーゲン活性化の機序

研究分担者 廣田昌彦（熊本地域医療センター医師会病院外科）

15. 重症急性膵炎の免疫能に対する ω 3 脂肪酸静脈内投与の効果

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）
新崎亘、安田武生

16. EST後膵炎の予防におけるメシル酸ナファモスタットの効果に関する検討

研究協力者 山口武人（千葉県がんセンター）

石原武、横須賀修

17. ERCP関連膵炎予防法としての膵管ステント留置術—続報—

研究協力者 明石隆吉（熊本地域医療センター・ヘルスケアセンター）

12：22～13：20 昼食（研究分担者打ち合わせ会 東北大学東京分室/サピアタワー10階）

[3] 慢性膵炎—共同研究 13：20～14：30（発表5分、質疑2分）

18. 慢性膵炎の実態に関する全国調査

研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

廣田衛久、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋

19. 慢性膵炎臨床診断基準改訂と妥当性の検討

研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

正宗淳、片岡慶正、伊藤鉄英、
成瀬達、宮川宏之、大原弘隆、
竹山宜典、神澤輝実、佐田尚宏、
須田耕一、羽鳥隆、白鳥敬子

20. 慢性膵炎の素因に関する検討

研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

正宗淳、桑潔、片岡慶正、
伊藤鉄英、竹山宜典、丸山勝也

21. 早期慢性膵炎および慢性膵炎疑診例の前向き予後調査

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）

五十嵐久人、下瀬川徹

22. 早期慢性膵炎とPI剤使用の実態調査

研究分担者 片岡慶正（京都府立医科大学大学院消化器内科学）

伊藤鉄英、木原康之、成瀬達、
佐田尚宏、阪上順一、下瀬川徹

23. 慢性膵炎の合併症に対する内視鏡治療ガイドライン作成
 研究分担者 乾和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科）
 入澤篤志、大原弘隆、廣岡芳樹、
 藤田直孝、宮川宏之、佐田尚宏
 ワーキンググループ、下瀬川徹
24. 慢性膵炎線維化の診断法の開発
 研究分担者 木原康之（産業医科大学消化器・代謝内科）
 伊藤鉄英、片岡慶正、成瀬達、
 西森功、宮川宏之、田口雅史、
 下瀬川徹
25. 膵性糖尿病全国調査 2005 最終報告
 研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）
 木原康之、下瀬川徹
26. 慢性膵炎の禁酒・生活指導指針作成
 研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）
 五十嵐久人、下瀬川徹
27. 慢性膵炎と膵癌の関連性についての調査研究
 研究分担者 田中雅夫（九州大学大学院臨床・腫瘍外科）
 上田純二、下瀬川徹

[4] 慢性膵炎—各個研究 14 : 30～14 : 55（発表 3 分、質疑 2 分）

28. 早期慢性膵炎診断における血中 fractalkine 測定の有用性の検討
 研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）
 五十嵐久人、安田幹彦、大野隆真、
 河邊顕、松尾亨、藤森尚、
 中村太一
29. 細胞外マトリックスが膵星細胞に与える影響
 研究分担者 木原康之（産業医科大学消化器・代謝内科）
 浅海洋、田口雅史、永塩美邦
30. 膵機能低下と NAFLD および NASH の発生機序に関する研究
 研究協力者 伊佐地秀司（三重大学大学院肝胆膵・移植外科学）
 加藤宏之、栗山直久、安積良紀、
 岸和田昌之、水野修吾、臼井正信、
 櫻井洋至、田端正己

31. 慢性膵炎、膵切除後の膵外分泌機能測定
研究協力者 江川新一（東北大学大学院医学研究科消化器外科学分野）

32. 呼気による膵外分泌機能検査 -胃運動を考慮して-
研究協力者 中村光男（弘前大学医学部保健学科病因・病態検査学）
松本敦史、野木正之、田中光、
柿崎綾女、佐藤江里、柳町幸、
丹藤雄介

14 : 55～ コーヒーブレイク

15 : 10～ 事務局連絡

[5] 自己免疫性膵炎－共同研究 15 : 15～15 : 50（発表 5 分、質疑 2 分）

33. 自己免疫性膵炎診療ガイドライン作成
研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）
西森功、伊藤鉄英、乾和郎、
川茂幸、神澤輝実、大原弘隆、
能登原憲司、入澤篤志、西野隆義、
久保恵志、藤永康成、長谷部修、
田中滋城、下瀬川徹

34. 自己免疫性膵炎診断基準の国際化にむけて
研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）
川茂幸、神澤輝実、下瀬川徹

35. 自己免疫性膵炎の活動性評価
研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）
西森功、下瀬川徹

36. 自己免疫性膵炎の実態調査（第 2 回全国調査）-GEL, IDCP の調査を含む-
研究分担者 西森功（高知大学医学部附属病院光学医療診療部）
岡崎和一、神澤輝実、川茂幸、
須田耕一、能登原憲司、杉山政則、
白鳥敬子、菊田和宏、下瀬川徹

37. 自己免疫性膵炎におけるステロイド治療の最適化の検討
研究分担者 西森功（高知大学医学部附属病院光学医療診療部）
伊藤鉄英、岡崎和一、大原弘隆、
神澤輝実、木原康之、川茂幸、
桐山勢生、白鳥敬子、山雄健次、
吉田仁、杉山政則、下瀬川徹

[6] 自己免疫性膵炎—各個研究 15:50～16:20 (発表3分、質疑2分)

38. 自己免疫性膵炎の病態における制御性T細胞に関する研究

研究分担者 岡崎和一 (関西医科大学内科学第三講座消化器内科)

内田一茂、三好秀明、小藪雅紀、
西尾彰功

39. 自己免疫性膵炎患者の涙腺機能の検討

研究協力者 神澤輝実 (東京都立駒込病院内科)

今井光穂、安食元、江川直人

40. 自己免疫性膵炎 (LPSP) における結節性病変の病理組織学的検討

研究協力者 須田耕一 (東京西徳洲会病院病理科)

高瀬優、福村由紀、内藤嘉紀、
阿部寛、柿沼千早、八尾隆史

41. IgG4 関連病変におけるリンパ節腫脹と血清 IgG、IgG4 値の相関について

研究協力者 能登原憲司 (財団法人倉敷中央病院病理検査科)

和仁洋治、津嘉山朝達、
内野かおり、藤原弥生、上田泰典、
新井修、島津裕

42. FDG-PET を用いた AIP と膵癌との鑑別—ステロイド前後の比較—

研究協力者 山雄健次 (愛知県がんセンター中央病院消化器内科部)

水野伸匡、高木忠之、松本和也

43. 自己免疫性膵炎と膵管癌

研究協力者 吉田仁 (昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門)

田中滋城、岩田朋之、山崎貴久、
湯川明浩、野本朋宏、本間直、
北村勝哉、今村綱男、池上覚俊、
井廻道夫

[7] 膵嚢胞線維症—共同研究 16:20～16:27 (発表5分、質疑2分)

44. 第4回膵嚢胞線維症全国調査

研究分担者 成瀬達 (三好町民病院)

石黒洋、吉村邦彦、辻一郎、
栗山進一、下瀬川徹

[8] 腭嚢胞線維症－各個研究 16 : 27～16 : 42 (発表 3 分、質疑 2 分)

45. 日本人 CF 症例の CFTR 遺伝子変異に関する検討

研究協力者 吉村邦彦 (虎の門病院呼吸器センター内科)

安齋千恵子

46. CFTR 遺伝子のプロモーター領域の解析

研究分担者 成瀬達 (三好町民病院)

石黒洋、藤木理代、中莖みゆき、
山本明子、近藤孝晴

47. 腭嚢胞線維症における SLC26 の役割

研究協力者 石黒洋 (名古屋大学大学院医学系研究科健康栄養医学)

成瀬達、山本明子、中莖みゆき、
近藤孝晴、洪繁

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
難治性瘰疾患に関する調査研究班
研究代表者：下瀬川 徹

平成 20 年度 第 2 回研究報告会
プログラム

日 時：平成 21 年 1 月 23 日（金）10：30～17：00

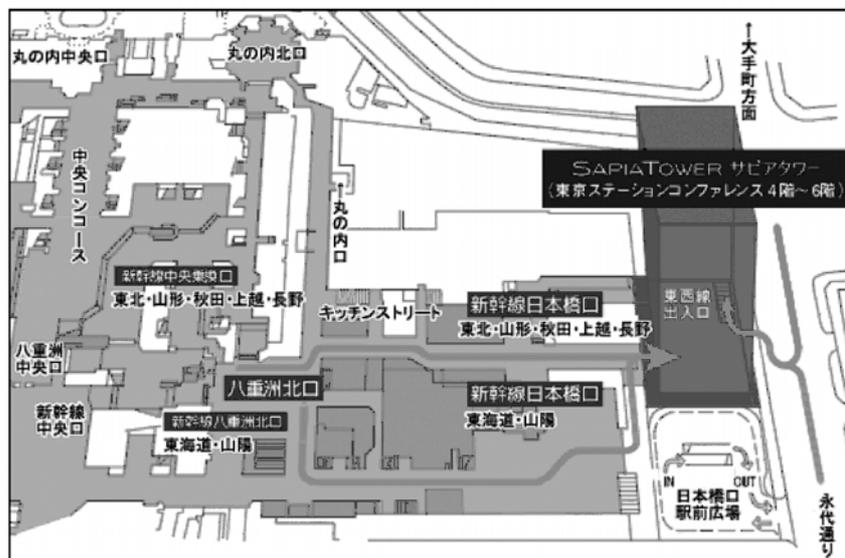
会 場：東京ステーションコンファレンス
千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 6 階 605
TEL 03-6888-8080（代表） FAX 03-6888-8062

【 発表に関するお願い 】

1. 発表データは、あらかじめ平成 21 年 1 月 16 日 (金) 午前中までに難治性膵疾患に関する調査研究班事務局 (suizo@m.tains.tohoku.ac.jp) まで e-mail にてお送りください。
2. PC (Windows に限定)、PowerPoint による、プレゼンテーションのみとします。
3. プログラムに添った時間配分で進行しますので、時間厳守にご協力ください。

【 会場案内 】

サピアタワー周辺地図



サピアタワー6階

新幹線東京駅日本橋口ー徒歩1分 東京駅八重洲北口ー徒歩2分

※地下 2~3 階に駐車場がございます。(300 円/30 分)

10:30 開会の辞

研究代表者 下瀬川 徹

10:32 ご挨拶

厚生労働省健康局疾病対策課 様

[1] 急性膵炎—共同研究 10:37~12:01 (発表5分、質疑2分)

1. 急性膵炎、重症急性膵炎の全国調査

研究代表者 下瀬川徹 (東北大学大学院消化器病態学)

佐藤賢一、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋

2. 重症急性膵炎医療費受給者証交付申請状況

研究代表者 下瀬川徹 (東北大学大学院消化器病態学)

正宗淳

3. 重症急性膵炎治療開始の golden time の設定に関する検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
北川元二、真弓俊彦、下瀬川徹

4. 急性膵炎重症化の早期予知としての perfusion CT の有用性の検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
多田真輔、木村憲治、桐山勢生、
古屋智規、下瀬川徹

5. 急性膵炎重症度判定基準(2008)の検証

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、木原康之、北川元二、
黒田嘉和、下瀬川徹

6. 急性膵炎の搬送基準、高次医療施設要件の設定

研究分担者 片岡慶正 (京都府立医科大学大学院消化器内科学)

武田和憲、竹山宜典、廣田昌彦、
黒田嘉和、下瀬川徹

7. 急性膵炎の早期診断法—尿中 trypsinogen2 の有用性の検討

研究分担者 片岡慶正 (京都府立医科大学大学院消化器内科学)

竹山宜典、伊藤鉄英、真弓俊彦、
伊佐地秀司、北川元二、阪上順一、
横江正道、下瀬川徹

8. 急性膵炎初期診療コンセンサスの改訂

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）

五十嵐久人、木原康之、下瀬川徹、
ワーキンググループ委員

9. 重症急性膵炎の特殊療法の有用性に関する検証

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）

武田和憲、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二、古屋智規、羽鳥隆、
真弓俊彦、下瀬川徹

10. 急性膵炎の栄養と腸管対策に関する指針

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）

片岡慶正、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二、下瀬川徹

11. ERCP 後膵炎の新たな診断基準案の検証

（尿中トリプシノーゲン2によるあらたな診断基準案の作成についての提案も含めて）

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

明石隆吉、入澤篤志、大原弘隆、
山口武人、吉田仁、花田敬士、
五十嵐良典、木田光弘、川口義明、
森實敏夫、下瀬川徹

12. ERCP 後膵炎の対策

ハイリスク群における ERCP 後の内視鏡的膵管ステント留置術についての提案

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

明石隆吉、入澤篤志、大原弘隆、
山口武人、吉田仁、花田敬士、
五十嵐良典、木田光弘、川口義明、
森實敏夫、下瀬川徹

[2] 急性膵炎—各個研究 12 : 01 ~ 12 : 31（発表 3 分、質疑 2 分）

13. 膵 perfusion CT における被曝線量と安全性

研究協力者 多田真輔（京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座）

辻喜久、小泉幸司、上野憲司、
千葉勉

14. 新急性膵炎重症度スコアの有用性と新スコアによる動注療法と経腸栄養の適応決定

研究分担者 黒田嘉和（神戸大学大学院消化器外科学）

新関亮

15. 急性膵炎における renal rim sign の意義
研究分担者 廣田昌彦（熊本地域医療センター医師会病院外科）
16. 実験急性膵炎における IL-15 の動態と意義
研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）
亀井敬子、安田武生、上田隆
17. EST後膵炎の予防におけるメシル酸ナファモスタットの効果に関する検討—第2報—
研究協力者 山口武人（千葉県がんセンター）
石原武、横須賀收
18. non-EST/EBDによる急性膵炎について
研究協力者 明石隆吉（熊本地域医療センター・ヘルスケアセンター）

12 : 31 ~ 13 : 20 昼食 （研究分担者打ち合わせ会 東北大学東京分室/サピアタワー10階）

[3] 慢性膵炎—共同研究 13 : 20 ~ 14 : 30（発表5分、質疑2分）

19. 慢性膵炎の実態に関する全国調査
研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）
廣田衛久、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋
20. 慢性膵炎臨床診断基準改訂と妥当性の検討
研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）
正宗淳、片岡慶正、伊藤鉄英、
成瀬達、宮川宏之、大原弘隆、
竹山宜典、神澤輝実、佐田尚宏、
須田耕一、羽鳥隆、白鳥敬子
21. 慢性膵炎の素因に関する検討
研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）
桑潔、正宗淳、片岡慶正、
伊藤鉄英、竹山宜典、丸山勝也
22. 早期慢性膵炎および慢性膵炎疑診例の前向き予後調査
研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）
五十嵐久人、下瀬川徹、
ワーキンググループ委員

23. 早期慢性膵炎とPI剤使用の実態調査

研究分担者 片岡慶正（京都府立医科大学大学院消化器内科学）

伊藤鉄英、木原康之、成瀬達、
佐田尚宏、阪上順一、下瀬川徹

24. 膵仮性嚢胞の内視鏡治療ガイドライン作成

研究分担者 乾和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科）

入澤篤志、大原弘隆、廣岡芳樹、
藤田直孝、宮川宏之、佐田尚宏、
ワーキンググループ、下瀬川徹

25. 慢性膵炎線維化の治療法の開発

研究分担者 木原康之（産業医科大学消化器・代謝内科）

伊藤鉄英、片岡慶正、成瀬達、
西森功、宮川宏之、田口雅史、
藤野善久、下瀬川徹

26. 膵性糖尿病全国調査 2005 最終報告

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）

木原康之、下瀬川徹

27. 慢性膵炎の禁酒・生活指導指針作成

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）

中村太一、大野隆真、五十嵐久人、
丸山勝也、下瀬川 徹、
ワーキンググループ委員

28. 慢性膵炎と膵癌の関連性についての調査研究

研究分担者 田中雅夫（九州大学大学院臨床・腫瘍外科）

上田純二、下瀬川徹

[4] 慢性膵炎—各個研究 14 : 30~15 : 00（発表 3 分、質疑 2 分）

29. 早期慢性膵炎診断における血中 fractalkine 測定の有用性の検討

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）

河邊顕、安田幹彦、五十嵐久人、
大野隆真、松尾亨、藤森尚、
中村太一、高柳涼一

30. 膵星細胞の細胞外基質より受ける影響

研究分担者 木原康之（産業医科大学消化器・代謝内科）

浅海洋、田口雅史、原田大

31. 膵機能低下と NAFLD および NASH の発生機序に関する研究

研究協力者 伊佐地秀司（三重大学大学院肝胆膵・移植外科学）

加藤宏之、堯天一享、小西康信、
安積良紀、岸和田昌之、水野修吾、
臼井正信、櫻井洋至、田端正己

32. 呼気による膵外分泌機能検査 -胃運動を考慮して-

研究協力者 中村光男（弘前大学医学部保健学科病因・病態検査学）

松本敦史、丹藤雄介、柳町幸、
野木正之、佐藤江里、松橋有紀、
田中光

33. 特発性慢性膵炎疑診例に含まれる Oddi 括約筋機能不全（SOD）の検討

研究協力者 朴沢重成（慶應義塾大学医学部消化器内科）

宮田直輝、日比紀文

34. 早期慢性膵炎症例の EUS による経過観察

研究協力者 入澤篤志（福島県立医科大学内科学第二講座）

佐藤愛、池田恒彦、大平弘正

15 : 00～ コーヒーブレイク

15 : 15～ 事務局連絡

[5] 自己免疫性膵炎—共同研究 15 : 20～15 : 48（発表 5 分、質疑 2 分）

35. 自己免疫性膵炎診療ガイドライン作成

研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）

西森功、伊藤鉄英、乾和郎、
川茂幸、神澤輝実、大原弘隆、
能登原憲司、入澤篤志、西野隆義、
久保恵志、藤永康成、長谷部修、
田中滋城、下瀬川徹

36. 自己免疫性膵炎の活動性評価

研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）

内田一茂、西森功、下瀬川徹

37. 自己免疫性膵炎の実態調査（第2回全国調査）

研究分担者 西森功（高知大学医学部附属病院光学医療診療部）

岡崎和一、神澤輝実、川茂幸、
須田耕一、能登原憲司、杉山政則、
白鳥敬子、廣田衛久、菊田和宏、
下瀬川徹

38. 自己免疫性膵炎におけるステロイド治療の最適化の検討

（ステロイド維持療法の有用性に関する多施設共同ランダム化介入比較試験）

研究分担者 西森功（高知大学医学部附属病院光学医療診療部）

水野伸匡、飯山達雄、伊藤鉄英、
岡崎和一、大原弘隆、神澤輝実、
木原康之、川茂幸、桐山勢生、
白鳥敬子、山雄健次、吉田仁、
杉山政則、下瀬川徹

[6] 自己免疫性膵炎—各個研究 15:48~16:23（発表3分、質疑2分）

39. マウス自己免疫性膵炎における液性免疫反応の解析

研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）

西尾彰功、内田一茂、福井寿郎

40. 自己免疫性膵炎に合併した硬化性胆管炎の診断における経乳頭的胆管生検の検討

研究協力者 大原弘隆（名古屋市立大学大学院 消化器・代謝内科学）

中沢貴宏、安藤朝章、林香月、
城卓志

41. 自己免疫性膵炎患者の涙腺機能の検討

研究協力者 神澤輝実（東京都立駒込病院内科）

今井光穂、安食元、江川直人

42. 自己免疫性膵炎における結節性膵炎像の検討

研究協力者 須田耕一（東京西徳洲会病院病理科）

高瀬優、福村由紀、内藤嘉紀、
阿部寛、柿沼千早、八尾隆史

43. Lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitisにおける storiform fibrosis
についての検討

研究協力者 能登原憲司（財団法人倉敷中央病院病理検査科）

44. 自己免疫性膵炎に対するステロイド治療の効果判定における FDG-PET の有用性—続報—
研究協力者 山雄健次（愛知県がんセンター中央病院消化器内科部）

水野伸匡、原和生、高木忠之、
松本和也、山北圭介、玉木恒男

45. 自己免疫性膵炎と膵管癌との関連性

研究協力者 吉田仁（昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門）

田中滋城、岩田朋之、山崎貴久、
湯川明浩、野本朋宏、本間直、
北村勝哉、今村綱男、池上寛俊、
井廻道夫

[7] 膵嚢胞線維症—共同研究 16 : 23~16 : 30（発表 5 分、質疑 2 分）

46. 第 4 回膵嚢胞線維症全国調査

研究分担者 成瀬達（三好町民病院）

石黒洋、吉村邦彦、辻一郎、
栗山進一、菊田和宏、下瀬川徹

[8] 膵嚢胞線維症—各個研究 16 : 30~16 : 50（発表 3 分、質疑 2 分）

47. 日本人 CF 症例の CFTR 遺伝子変異に関する検討

研究協力者 吉村邦彦（虎の門病院呼吸器センター内科）

安斎千恵子

48. CFTR 遺伝子のプロモーター領域の解析

研究分担者 成瀬達（三好町民病院）

藤木理代、石黒洋、中莖みゆき、
山本明子、近藤孝晴

49. 膵嚢胞線維症における SLC26 の役割

研究協力者 石黒洋（名古屋大学大学院医学系研究科健康栄養医学）

山本明子、Song Ying、
近藤孝晴、洪繁、成瀬達

50. 膵導管細胞機能障害と CFTR クロライドチャネルの細胞内局在

研究協力者 石黒洋（名古屋大学大学院医学系研究科健康栄養医学）

洪繁、廣岡芳樹、後藤秀実、
水野伸匡、山雄健次、山本明子

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患克服研究事業

難治性膝疾患に関する調査研究

平成20年度 総括・分担研究報告書

平成21年3月31日 印刷・発行

発行者 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業

難治性膝疾患に関する調査研究

研究代表者 下瀬川 徹

仙台市青葉区星陵町 1-1

東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野

TEL : 022-717-7171

製作・印刷 東北大学生協同組合

仙台市青葉区片平 2-1-1

TEL : 022-262-8022